

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こばんはうすさくら 三郷駅前教室

保護者等数(児童数) 15名

回収数 14件(割合93%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2			日ごろの活動写真を見る限り、十分なスペースで行えている。	公園利用も交え、快適に過ごして頂けるスペースと機会を確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			3		現在職員は充足しておりますが、安定して適切な配置が継続できる様、採用は積極的に行っています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		2	言葉の支持が理解できないことに対し、視覚的なアプローチをしてくれている。	写真やイラスト・ホワイトボードを用いて言語以外のコミュニケーションも活用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			1		施設全体、毎日の清掃を徹底していますので、今後も継続して心地よく過ごして頂けるよう心がけます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	9			5	ガイドラインをよく理解していないので分からず。	保護者の方の理解も深めていただける様、ご説明や研修機会の情報提供に努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			2	毎週違ったプログラムを組んでくれている。	曜日固定でのご利用者様が多いため、重ならないように今後も組んでいきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。						
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1		3	説明はあったと思うが覚えていない。	ご説明に対しての理解度を把握する仕組みの整備が課題です。アンケートを用いて図ることを検討しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トランジング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11			3		
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				同じ経験をされた先生に話を聞いてもらえて少し楽になりました。	ご家庭状況も差し支えない範囲で共有していますので、職員からの類似経験アドバイス等ができるようになります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		5	7	2	分からないが、参加できていない。	保護者の方々の交流機会についてはご用意ができておりませんでした。学校休日や祝日を活用したイベントの開催を検討したいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	3			申し入れを行い、すぐに候補日の中で実施してもらえた。	教室側からの発信不足は課題です。運動会や事業参観などの行事に合わせて面談・相談の希望お伺いをこちらから行うように致します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14			とても楽しみにしている。	楽しんでいただけ、何よりです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			満足している。利用日が増やせないのが残念。	今後ご希望通りご利用いただけるよう、現在拡大に向けて動いております。	

公表日

年 月 日

事業所名

こばんはうすさくら ○○教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		活動部屋を2部屋有している為、人数や活動内容に応じて使い分け分散がされている。	現在の規模においての課題は無いものと考えております。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		職員：児童 = 2 : 1 の割合で配置を行っている。	今後も安定した人員の充足の為、現在も採用活動中です。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		清掃・植物配置を継続し、清潔に整えてています。2室を「静」「動」使い分けを行い、落ち着いて過ごしています。	今後も清掃は徹底します。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	活動部屋・静養室いずれかを活用し、児童の状態に合わせて過ごせる様配慮しています。	静養室に時折プログラムで使用する備品がおかげていることがあるため、本来用途を実現できるよう徹底します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	定期面談のほかに、全職員対象とした任意の「気づいたことノート」で広い意見を募っています。	様々な意見が吸いあがってきており、今後も継続し、業務への反映ができる様に致します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		12	現在実施できていません。	今後実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	8	各種研修の案内は行い、本年度は教室の費用負担による資格取得を推奨し、3件の取得事例ができました。	継続して推進します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		定期モニタリング面談に対し、事前に職員間のミーティングも行ったうえで臨んでいます。	職員の児童理解を深める機会にもなっており、今後も継続いたします。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	2	定期モニタリング面談に対し、事前に職員間のミーティングも行ったうえで臨んでいます。	職員の児童理解を深める機会にもなっており、今後も継続いたします。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	活動計画はリーダーが事前に作成し報告して検証しています。	検証する人員が固定化されないよう仕組化していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		プログラム策定後、教室内で検証しています。	継続いたします。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	3	朝礼により実施できています。	今後も実施します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	3	夕礼により実施できています。 当日不在の職員への伝達は引継ぎ帳により行えています。	継続いたします。
適	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		記録表のほかに、全職員対象とした任意の「気づいたことノート」で広い意見を募っています。	様々な意見が吸いあがってきており、今後も継続し、業務への反映ができる様に致します。

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	12			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		使用するおもちゃを児童が選択できるよう掲示しています。	継続します。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		学校と直接連絡を取り、行えています。	継続して協力依頼します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		12	まだ卒業事例がありません。	今後発生する事案に対して真摯に取り組みます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	2	新規利用者の見学時には支援センターのご担当者様も同席頂き、助言を頂く機会となっております。	引き続き同席の依頼を行い、相互理解を深めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		12	現在児童間の交流は図れていません。	他の子どもとの交流機会は現在予定出来ておりませんが、同系の教室との交流から実現していく考えです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		12	参加出来ておりません。	今後の課題と致します。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			設けた機会のみならず、日常的に話し合える風土が醸成されてきています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12		取得した研修等情報は保護者様へ展開しています。児童の特性に合わせ、特定の研修の推奨なども行っています。	継続します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に代表者より行う様にしています。	代表者以外も説明できるよう訓練します。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		モニタリング・アセスメントで必ず確認をしています。ツールとして使用するシートに予め項目で盛り込んでいます。	継続利用します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		全件できています。 言語の壁がある利用者様へも翻訳を活用してご説明しています。	継続します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		要望へはしっかりと応じられています。	教室側からの発信不足は課題です。 行事に合わせて面談・相談の希望お伺いをこちらから行うように致します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		12	出来ていません。	保護者の方々の交流機会についてはご用意ができておりませんでした。 学校休日や祝日を活用したイベントの開催を検討したいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		すべて代表者により従業員への状況確認保護者対応を即日行っています。 対応報告も書面にて行っています。	事例展開について、職員へ伝えることで完了となってしまっているので。 理解度の確認の指標を設けることを検討。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		SNSを用いて日ごろの様子をお伝えできています。	ご好評いただいている写真提供は今後も力を入れていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	2		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		12	出来ておりません。	児童交流と併せ、今後の課題となります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2	訓練は実施できています。	保護者参加などのイベント化が次の目標となります。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		訓練は実施できています。	保護者参加などのイベント化が次の目標となります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		アセスメントにより確認がでています。	継続します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		確認の上利用開始しております。 現在該当児童はありません。	対象児童に対してはしっかりと対応致します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2	行えています。	継続します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		行えています。特に公園遊びの際のヒヤリハットに力を入れています。	繰り返し反復して定着を心がけます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		研修参加できています。参加報告書を基に理解度の計測を行えています。	継続します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		行えています。	継続します。